

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長 溝畑 正信 (東大阪東RC)

【ゾーンチーム研修】

2月12日(火)国立オリンピック記念青少年総合センターで「2013-14 年度ロータリー財団ゾーンチーム研修」が開催され、約160名が参加しました。本会議は小沢一彦財団管理委員と北清治RI 理事エレクトの挨拶で始まり、D.K.Lee 財団管理委員長の2013-14 年度ロータリー財団の4つの目標(世界)を確認しました。

1. ポリオを撲滅し、ポリオのない世界という夢をかたちにする。
2. 新しい補助金モデルの導入を成功させ、画期的な未来の夢計画を全世界で実施する。
3. より公平で平和な世界を築くため、革新的なプロジェクトと創造的なパートナーシップに参加する。
4. 年次基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金を支援して、ロータリー財団が自分たちの財団であるという自覚と誇りを築く。

【新しいリソース】

新補助金制度、ポリオ・プラス、学友、資金源、寄付者認証など、ロータリー財団に関する情報が簡潔にまとめられた「ロータリー財団 参照ガイド」が発行されました。この資料はPETSで配布されます。

【パッケージ・グラント】

ロータリーの戦略パートナーである ユネスコ水教育研究所 が2013-14年度の申請を開始しました。このパッケージ・グラントでは、ユネスコ水教育研究所で学ぶための奨学金を提供し、水と衛生の分野において高いスキルを備えた専門家とロータリアンとの間に長期的かつ生産的な関係を築くことを目的としています。

【ロータリー平和フェローシップ】

申請書のロータリー財団への提出期限は2013年7月1日です。クラブや地区はその前に、候補者を募集し、書類審査や面接などの選考を行います。

日本からの推薦はここ数年3名程度と大変少なくなっています。関連分野で3年以上の職務経験があり活動している方は海外在住のことも多く、日本でふさわしい候補者を探すのは確かに難しいですが、昨今はインターネットやメールなどソーシャルネットワークの普及で世界の距離は縮まってきています。直接面接ができない場合、電話やスカイプによる間接的な面接で推薦することもできます。

国際親善奨学金受領者も3年以上たっていれば応募可能です。

【ポリオ・プラス】

ポリオ・プラス寄付のチャレンジ期間は2012 年6 月末を以て目標額を達成し終了しましたが、未だポリオが地球上に根強く残っていることに変わりはありません。ロータリーは引き続きポリオ撲滅を組織の最優先課題として掲げ、ポリオ・プラスへの寄付を推進しています。

【ポリオ症例数】

2013年3月6日現在のポリオ症例数です。

	2013年 1月1日～3月6日	2012年
アフガニスタン	1	37
パキスタン	5	58
ナイジェリア	3	122
インド	-	-
ポリオ常在国以外	0	6
世界合計	9	223

現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。昨年の同時期のポリオ発生件数は22例でした。